

中日社会主义论坛-列宁与东方社会

中日社会主義フォーラム——レーニンと東方社会

2010・3 南京

中国人民大学马克思主义学院

武汉大学政治与公共管理学院

中山大学教育学院

扬州大学社会发展学院

南京师范大学公共管理学院

フォーラムスケジュール

2010年3月28日

参加者到着

場所：南京師範大学仙林校区国際学术交流センター

2010年3月29日

8:30 - 8:40

南京師範大学公共管理学院院長王小錫より挨拶

司会者：秦 宣

8:40 - 10:00

フォーラム発言と討論（一人20分）

司会者：秦 宣

瀬戸宏：『国家と革命』・中国と日本—プロレタリア独裁を中心に

俞良早：レーニンの東方社会理論について

左亜文：レーニン晩年の社会主義改良思想の解読

（9:40 - 10:00 質問と回答）

10:00 - 10:20 休憩（参加者全員が会場で記念撮影）

10:20 - 12:00

フォーラム発言と討論（一人20分）

司会者：王慶五

松井暁：レーニンと道徳

王進芬：レーニンの「問題は先鋒隊の知識能力だけにある」という東方視角について

蕭衡鍾：東方マルクス主義理論の発展に対するレーニンの受け継ぎと開拓

俞 敏：非常時期におけるレーニンの「人情に適う方法で」食糧を徴収する思想

（11:40 - 12:00 質問と回答）

12:00 昼食

14:00 - 15:40

フォーラム発言と討論（一人20分）

司会者：鐘明華

田上孝一：レーニンと反映論の意義

渡部正元：三浦つとむのレーニンの哲学（認識論）批判

余双好：マルクス主義研究方法及び中国革命道路の形成

葉啓績：マルクスと東方社会イデオロギー理論の変化及び発展

(15 : 20 – 15 : 40 質問と回答)

15 : 40 – 16 : 00 休憩

16 : 00 – 17 : 50

フォーラム発言と討論 (一人 20 分)

司会者：余双好

小宮昌平：「ザスーリチ宛の手紙」と現代—マルクス、レーニンとロシア農村
共同体

曹亜雄：世界の社会主義の視角から東方の社会主義を見る

周建超：世界歴史理論の視野における東方社会発展の道

王立新：ロシアの社会変身と社会思潮の相互影響

(17 : 20 – 17 : 40 質問と回答)

17 : 40 夕食 (南京師範大学公共管理学院招待)

2010 年 3 月 30 日

8 : 30 – 9 : 50

フォーラム発言と討論 (一人 20 分)

司会者：周建超

岩田昌征：社会主義計画経済から市場経済へ

王慶五：中国モデルの三つの特性に関する考え

陶文昭：世界大国と中国道

(9 : 30 – 9 : 50 質問と回答)

9 : 50 – 10 : 10 休憩

10 : 10 – 11 : 50

フォーラム発言と討論 (一人 20 分)

司会者：王立新

大西広：『資本論』『帝国主義論』の接点としての今次経済危機

秦 宣：問題と解決：ポストグローバル金融危機時代の中国の発展道路

鐘明華：中国特色と中国モデルについて

王永貴：東方社会主義発展道路の成功な探求

(11 : 30 – 11 : 50 質問と回答)

14 : 00 – 15 : 20

フォーラム発言と討論 (一人 20 分)

司会者：王永貴

中村宗之：グローバル化の中における社会保障の基本的原理

李 輝：社会責任：中国特色社会主義の自己確認の重要標準

劉 誠：協商民主と中国政党制度の堅持と完備

(15 : 00 – 15 : 20 質問と回答)

15 : 20 – 15 : 40 休憩

15 : 40 – 16 : 50

フォーラム発言と討論（一人 20 分）

司会者：俞良早

呉 波：中国道の二重規定

王露璐：郷土倫理の伝統特色と現代転換

張志丹：中国企業における社会責任の歴史的回顧及び現状分析

（16 : 40 – 17 : 00 質問と回答）

17 : 00 – 17 : 10 総括・瀬戸宏

17 : 30 夕食（夕食後、天気がよければ、夫子廟あたりを観光）

フォーラムスタッフ：

総司会者：俞良早教授

原稿翻訳：梁清秋、馬洪月、繆婷婷、姚遠

校 閲：于浩淼、顔婷

同時通訳：季愛琴、梁清秋

実務組メンバー：顧謙凱（組長）、楊光、査建国、孫唯、許開軼、張振

论坛日程

2010年3月28日

与会者报到

地点：南京师范大学仙林校区国际学术交流中心

2010年3月29日

8：30—8：40

南京师范大学公共管理学院院长王小锡先生致欢迎辞

主持人：秦宣

8：40—10：00

论坛发言与讨论（每人限20分钟）

主持人：秦宣

濑户宏：《国家与革命》·中国与日本——以无产阶级专政为中心

俞良早：论列宁的东方社会理论

左亚文：列宁晚年社会主义改良思想解读

（9：40—10：00 提问和答疑）

10：00—10：20

茶歇（此时间内全体与会者在会场合影）

10：20—12：00

论坛发言与讨论（每人限20分钟）

主持人：王庆五

松井晓：列宁与道德

王进芬：列宁“问题只在于先锋队的文化力量”的东方视角

萧衡钟：列宁与东方马克思主义发展的承前启后

俞敏：非常时期列宁“以合乎人情的方式”征收粮食的思想

（11：40—12：00 提问和答疑）

12：00 午餐

14：00—15：40

论坛发言与讨论（每人限 20 分钟）

主持人：钟明华

田上孝一：列宁和反映论的意义

渡部正元：三浦勉对于列宁哲学的批判

余双好：马克思主义研究方法与中国革命道路的形成

叶启绩：马克思与东方社会意识形态理论的变化与发展

（15：20—15：40 提问和答疑）

15：40—16：00 茶歇

16：00—17：40

论坛发言和讨论（每人限 20 分钟）

主持人：余双好

小昌宫平：《给查苏里奇的信》和现代——马克思、列宁与俄国农村
共同体

曹亚雄：从世界社会主义的视域看待东方的社会主义

周建超：世界历史理论视阈中的东方社会发展道路

王立新：俄罗斯的社会转型与社会思潮的互动效应

（17：20—17：40 提问和答疑）

17：40 晚餐（南京师大公管院宴请）

2010年3月30日

8：30—9：50

论坛发言与讨论（每人限 20 分钟）

主持人：周建超

岩田昌征：从社会主义计划经济到市场经济——对东欧经验的理论
分析

王庆五：关于对中国模式三点特性的认识

陶文昭：世界大国与中国道路

（9：30—9：50 提问和答疑）

9：50—10：10 茶歇

10：10—11：50

论坛发言与讨论（每人限20分钟）

主持人：王立新

大西广：作为《资本论》和《帝国主义论》的接点的本次经济危机

秦宣：问题与出路：后全球金融危机时代的中国发展道路

钟明华：论中国特色和中国模式——中国现代化的文化自觉

王永贵：东方社会主义发展道路的成功探索

（11：30—11：50 提问和答疑）

14：00—15：20

论坛发言与讨论（每人限20分钟）

主持人：王永贵

中村宗之：全球化中的社会保障的基本原理

李辉：社会责任：中国特色社会主义自我确证的重要尺度

刘诚：协商民主与中国政党制度的坚持和完善

（15：00—15：20 提问和答疑）

15：20—15：40 茶歇

15：40—16：50

论坛发言与讨论（每人限20分钟）

主持人：俞良早

吴波：中国道路的双重规定

王璐璐：乡土伦理的传统特色和现代转型

张志丹：中国企业社会责任的历史回顾与现状分析

（16：40—17：00 提问和答疑）

17：00—17：10 濑户宏先生作论坛小结

17：30 晚餐（晚餐后如天气好安排去夫子庙游览）

2010年3月31日

与会者赴扬州参观

主持人：刘诚

7: 30 国际学术交流中心门前乘车去扬州，准时发车

论坛作息时间：

7: 00—8: 00 早餐（国际学术交流中心二楼餐厅）

8: 10 国际学术交流中心门前乘车去会场，准时发车

上午论坛结束后午餐

13: 40 国际学术交流中心门前乘车去会场，准时发车

下午论坛结束后晚餐

论坛场地： 南京师范大学仙林校区 化成楼 207室

论坛工作人员：

总主持人：俞良早教授

稿件翻译：梁清秋、马洪月、缪婷婷、姚远

校 对：于浩淼、颜婷

同声传译：季爱琴教授、梁清秋

会务组成员：顾谦凯（组长）、杨光、查建国、孙唯、许开轶、张 振、
徐 芹